

授業科目名	保育音楽演習	担当教員名	河野 佑美
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	大学が独自に設定する科目-保育の内容・方法に関する科目
必修・選択/単位数	選択 / 2単位 (60時間)	授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	3年 通年 (1-4期) / ※令和5年度は開講しません	特記事項	
授業の概要及び全体目標	<p>幼児の感性や創造性を豊かにするためのリズムについて、その指導方法や伴奏方法、カリキュラムの構成を学び、幼稚園でできるリズムを身に付ける。また、絵本を通して様々な場面や気持ちを音楽で表現できる音楽作成能力を身に付け、幼児期の総合的な音楽遊びである劇遊びの作成、模擬保育に繋げる。制作過程において生じるさまざまな問題を解決していきながら、自己表現力や他者理解力といった人間関係力を理解する。</p>		
到達目標	<p>(1)幼稚園・保育園で子ども達と一緒に楽しめる音楽の作成と演奏技術の習得 ①保育音楽に必要な楽典の習得 ②子どもの歌を表現豊かに歌う ③様々な場面や感情を分かり易く表現した音楽の作成・演奏ができる (2)幼児の心情、思考及び動きを理解した音楽遊びを提供でき、制作活動を通して構想、計画、実践する力、他者理解力、人間関係力を身に付ける ①幼児の表現活動の特徴をふまえた上で保育の構成ができる ②保育者として幼児の表現や興味を引き出す指導法や重要性を模擬保育を通して習得する</p>		
テキスト	使用しない (プリント配付)		
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社)、		
成績評価の方法	受講意欲・態度30%、課題、実技試験70%		
授業外 (事前・事後) 学習の方法、オフィスアワー等	事前学習については授業で指示する。事後学習については毎回コメントシートを提出。 オフィスアワー : 授業終了後、質問事項を質問シートに記載し、学務室経由で提出してください。		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	リズムの基本 ①定義、基礎リズムとステップ / 作曲課題 ①幼児音楽で頻繁に使用する調性を踏まえて、基本の和音進行を学ぶ		
第2回	リズムの基本②強弱変化・速度変化・高低変化の3種類の即時反応活動を学び、効果的な合図音や声掛けについて考える / 作曲課題②手軽にできる旋律の作成方法を学び作成する		
第3回	リズムの基本③ボールやスカーフを用いたリズム活動を学ぶ 3拍子や6/8拍子を中心にフレーズを意識した動きについて考える / 作曲課題③様々な伴奏のリズム型を身に付け、歌詞のイメージに合わせて選択する。		
第4回	リズムの基本④誰が・どのように・どのような状況かを判断し、適切な音楽と声掛けを学ぶ / 作曲課題④試弾し、楽譜を完成させる		
第5回	リズムの基本⑤「動物・天気・風船・舞踏会」を題材として、考えられるリズム活動を学ぶ / 作曲課題⑤主要三和音を用いて歩くリズムを基に異なる場面を想定した伴奏の作成工夫について学ぶ(楽しく歩く・とぼと歩く等)		
第6回	リズムの基本 確認小テスト (実技と筆記) / 作曲課題⑥ 和音進行を確定し、右手を作成する		
第7回	リズムの活用① 音の認識に関するリズムの活動を知る / 作曲課題 ⑦楽譜を作成する		
第8回	リズムの活用② 音符の認識に関するリズムの活動を知る / 作曲課題 ⑧試弾、楽譜を完成させる		
第9回	リズムの活用③ 年齢別のカリキュラムの構成を知る / 作曲課題⑨ 発表と振り返り		
第10回	リズムのカリキュラム作成と演奏工夫 ①構成を考え、基本となる伴奏を作成する / コード伴奏演習① 八長調のまとめ		
第11回	リズムのカリキュラム作成と演奏工夫 ②効果的な補助や合図について学び、作成した伴奏を整える / コード伴奏演習② 八長調のまとめ		
第12回	リズムのカリキュラム作成と演奏工夫 ③伴奏の練習、作成したカリキュラムを通して、改善点を話し合う / コード伴奏演習③ 十長調のまとめ		
第13回	リズム視聴覚教材の作成と利用の工夫 ①作成したカリキュラムを視聴覚教材用にアレンジする ②構成と伴奏演奏を深める ③デモンストレーションを行う【ICT機器の活用】		
第14回	リズム視聴覚教材の作成と利用の工夫 ④撮影する ⑤視聴して改善点について話し合う ⑥修正したカリキュラムで再度撮影する【ICT機器の活用】		
第15回	リズム視聴覚教材の作成と利用の工夫 ⑦作成した動画を用いて模擬保育を行う 振り返り 【ICT機器の活用】 / コード伴奏演習 実技試験 / 前期の総括		
第16回	絵本を題材にイメージを広げるための音楽の作成①雰囲気合う音楽の調性・速度・音符・音高の特徴を知る ②絵本を題材に物語の構成・場面にあった音楽の作成手順を学ぶ 場面の分割とイメージの位置づけを行う / 楽典の基礎の確認プリント (毎時)		

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第17回	絵本を題材にイメージを広げるための音楽作成③BGMの挿入方法を学ぶ（既存の曲から選曲）④応用 既存の曲を用いて登場人物に合わせた編曲方法を学び、作成する / 楽典の基礎の確認プリント（毎時）	
第18回	絵本を題材にイメージを広げるための音楽作成⑤BGMの挿入方法を学ぶ（作曲の場合）⑥応用 登場人物に合わせた作曲方法を学び、作成する / 楽典の基礎の確認プリント（毎時）	
第19回	絵本を題材にイメージを広げるための音楽の作成⑦台詞に音楽を付ける方法を学ぶ / 楽典の基礎の確認プリント（毎時）	
第20回	絵本を題材にイメージを広げるための音楽の作成⑧作成した音楽を試弾し整える / 楽典の基礎確認プリント（毎時）	
第21回	子どもの歌指導①子どもの音域について知る ②基礎の発声練習、新しい歌の指導方法について学ぶ / 楽典の基礎の確認プリント（毎時）	
第22回	子どもの歌指導③童謡毎の練習ポイントや効果的な発声準備練習について学び、設定された課題曲について指導を考える / 楽典の基礎の確認プリント（毎時）	
第23回	子どもの歌指導④課題曲の指導の発表、振り返り / 楽典の基礎の確認プリント（毎時）	
第24回	音楽劇の模擬保育①作成手順と実践計画の立て方を知る お話の作成に取り掛かる / 楽典の基礎の確認プリント（毎時）	
第25回	音楽劇の模擬保育②作成したお話のディスカッションをし、お話を完成させる / 楽典の基礎の確認プリント（毎時）	
第26回	音楽劇の模擬保育②役割分担、場面ごとに必要な音楽や歌を作成する / 楽典の基礎の確認プリント（毎時）	
第27回	音楽劇の模擬保育③効果的な効果音や表現について意見交換を行う / 実技試験内容と課題曲の発表	
第28回	音楽劇の模擬保育④必要な小道具の作成、個人練習 / 実技試験課題曲の練習（各自編曲）	
第29回	音楽劇の模擬保育⑤動画撮影による検証、歌い方やセリフの明確さを確認【ITC機器の活用】 / 実技試験課題曲の練習	
第30回	音楽劇の模擬保育⑥発表と振り返り / 実技試験	